

一 般 質 問 通 告 順 序 表

No.1 (6月16日)

番 号	質 問 者	質問の相手	質 問 の 要 旨
1	中 村 敏 彦	市 長 教 育 長	<p>1. 熊本地震と防災計画について</p> <p>(1) 多くの犠牲を出した熊本地震で、蒲島・熊本県知事が「想定外だった」とコメントしたことが指摘されているが、熊本地震に関する市長の率直な感想を伺う。</p> <p>(2) 5月9日の南日本新聞は「防災計画 甘さ露呈」と報じているが、熊本地震から何を学び、本市の防災計画および市民の安心・安全のための施策にどのように生かすか、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 熊本地震は「原発廃炉」を示唆しているが市長の見解はいかがか。</p> <p>2. 消防職員定数改善について</p> <p>(1) 県内消防本部の消防力整備指針に基づく定数と本市の現状を伺う。</p> <p>(2) 昨年の台風15号並びに本年4月の熊本地震を踏まえると、消防職員定数を改善すべきと考えるが市長の見解を伺う。</p> <p>3. 通学路の安全対策について</p> <p>(1) 平成24年、27年に危険箇所としてリストアップした通学路の安全対策・改善の進捗状況はいかがか。</p> <p>(2) 国道・県道・市道において、停止線やゼブラゾーン等が不明瞭な箇所が散見されるが、定期点検と改善計画はどのようになっているか。</p>
2	東 育 代	市 長 教 育 長	<p>1. 防災体制の整備について</p> <p>(1)大規模災害発生時の対策について 近年、全国的に想定外の大規模（複合）災害が頻繁に発生している。本市において大規模災害が発生した際には、どのような対策を行い、また支援を受入れていく考えか。</p> <p>①他自治体からの支援やボランティア等の受け入れ体制について伺う。</p> <p>②消防団や福祉施設、学校等との連携をどのように考えるか。</p> <p>③仮設住宅等の設置場所について伺う。</p> <p>④食料品等の備蓄状況について伺う。</p> <p>⑤避難所における災害弱者への配慮等環境整備について伺う。</p> <p>(2)災害を受けた他自治体からの避難者等の受け入れについてはどのように考えるか。</p> <p>2. 子育て支援と人口減少対策について</p> <p>県平均と比較して、年少人口・生産年齢人口の割合がともに低く、老年人口の割合は高い。人口減少対策には、子育て世代への支援が最も大切である。本市の現状と市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 子育て支援センターの取組みについて伺う。</p> <p>(2) 市教育支援センターの整備について伺う。</p> <p>(3) 児童発達支援と療育事業の整備、運営について伺う。</p> <p>(4) 子育て支援サポーター養成について伺う。</p>

3	西別府 治 市	市長	<p>1. 災害時における総合体育館の役割について</p> <p>(1) 総合体育館の避難所指定について伺う。 (2) 総合体育館の災害時の役割について伺う。 (3) 大規模災害時における総合体育館の本部代替施設としての位置付けについて伺う。</p> <p>2. 鳥獣被害対策について</p> <p>(1) 鳥獣被害状況と里山環境の現状について伺う。 (2) 鳥獣被害防止対策の実施状況について伺う。 (3) 冠岳、生福及び川上地区を中心に深刻化しているニホンザル被害の対策強化について伺う。</p>
4	福田 道代	市長 教育長	<p>1. 川内原発について</p> <p>(1) 熊本地震から薩摩半島西方沖地震が頻発しているにもかかわらず、川内原発は動き続けているが稼働を止めて点検すべきと思うが、市長の見解を伺う。 (2) 複合災害が発生した場合の避難経路に対し、市民の多くが疑問を持っている。本市の避難計画を見直す必要があるのではないか。</p> <p>2. 減災対策について</p> <p>(1) 建物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための本市の基本的方針について伺う。 (2) 建物の耐震診断及び耐震改修に対する補助制度の整備はできないか伺う。</p> <p>3. 消防体制について</p> <p>本市では地域住民の高齢化、過疎化に伴い、消防団員も減少傾向にある。必要な消防力の確保のため、人員体制の強化が必要ではないか。</p> <p>4. 公約違反の TPP について</p> <p>TPP は本市の農業に大打撃を与え、食の安全、医療、保険など深刻な影響を及ぼす TPP に市長は撤回の態度を表明すべきではないか。</p> <p>5. 公共施設の改善について</p> <p>(1) アクアホールの2階会議室はトイレが無く、高齢者や障害者の利用に支障をきたしている状況であり、階段にリフト等の設置はできないか。 (2) 市来地域公民館を市民の利便性向上を図るため、日曜日の開館はできないか。</p>

一般質問通告順序表

No.2 (6月17日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	宇都耕平	市長 教育長	<p>1. 歴史文化遺産について 麓土地区画整理事業により歴史ある麓の地形が様変わりしてきたが、歴史文化遺産を保護し、観光及び学校教育に活用すべきではないか。</p> <p>2. 地元特産品の宣伝販売について 板橋区のハッピーロード大山商店街の「とれたて村」事業を活用し、本市の特産品販売や観光誘致のためにイベント及び地域交流活動を行ってはどうか。</p>
2	平石耕二	市長	<p>1. 熊本地震と本市の防災対策について (1) 建物の耐震構造の現況と今後の普及対策等について伺う。 (2) 仮設住宅建設候補地の早急な確保について伺う。</p> <p>2. 川内原発について 鹿児島県及び九州電力は原発の近郊に居住する地域住民との信頼関係を構築すべきであると考えている。原発を一時的にでも運転を止めて検査をし、状況を広報することで住民は安心して暮らすことができると思う。市長の見解を伺う。</p>
3	田中和矢	市長 教育長	<p>1. 熊本地震後の川内原発に対する考え方について (1) M7.3の大地震が発生し市民の安全を確保するためにどのような手立てを考えているか。 (2) 地震による災害は期間と費用をかければ復旧できるが、「原発」の放射能汚染はすべての生活を丸ごと失う。これを機会に原発による発電を今こそ止めるべきではないか。</p> <p>2. 土曜授業の再開について (1) 月1回の土曜授業が再開し、保護者や教育現場の反応や評価、成果について伺う。 (2) 市独自でその回数を拡充する考えはないか。</p> <p>3. 子ども医療費の窓口無料化について 医療費の窓口支払いをやめ、医療機関が市に直接請求する窓口無料化の方式に変更できないか。</p> <p>4. 子どもの貧困解消策について 本県の子どもの貧困率 20.6%を解消するための対策として、「子ども食堂」等を実施する考えはないか。</p>

4	大六野 一美	市長	<p>1. 合併 10 年の成果について</p> <p>(1) 一体感の醸成はなされていると思うが、まだ地域的に偏った発言や思いを持っている市民もいるがどのように考えるか。</p> <p>(2) 今後、改善・改革をしなければならない課題は何か。</p> <p>(3) 合併 10 年を経て、次期への想いを問う。</p> <p>2. 下石野・中井原線の拡幅について</p> <p>(1) 下石野線は幾度となく議題となったが、地権者の同意が得られず今日に至る。現在、同意が得られる環境にあるが、市の対応について伺う。</p> <p>(2) 下石野線は福菌 2 号線と県道市比野線を結ぶ生福校区の重要路線である。同時に通学路である事から早急に対応すべきであるかどうか。</p> <p>(3) 中井原線については現況と地籍図との違いが大きな要因である。以前に一般質問をしたがその後の対応について伺う。</p> <p>(4) 上記の問題で、以前、道路であったところに太陽光が設置され、従来の道路幅が縮小されていることも地権者の感情を悪化させている。市の対応について伺う。</p>
---	--------	----	--